

//////// 住宅火災からの逃げ遅れを防ぐ //////////

住宅用火災警報器

10年
経ったら
交換を!

定期的に点検し、10年を目安に交換しましょう!

住宅用火災警報器は、古くなると電子部品の劣化や電池切れなどで火災を感知しなくなることがあります。



住宅用火災警報器で守れる命があります

近年の住宅火災による死者数は、全国で1,000人前後で推移しており、そのうち約7割が65歳以上の高齢者となっています。また、死者が発生した時の状況は約9割の方が逃げ遅れによるものです。



住宅用火災警報器は、
火災を早期に把握し、逃げ遅れを防ぐことができます。



住宅用火災警報器に係る疑問を解決します!

住宅用
火災警報器
あれこれ

音が鳴ったら、
どうすればいいの?

設置しているけど、
実際に役に立った
事例はあるの?

どこで買えばいいの?
正しい設置場所・位置は?

業者が自宅に
訪問販売に来ることは
あるの?

点検しないといけないの?
どうやって点検するの?



詳しくはこちら